

今年は少し遅れ8月3日に調査。干潮が10:23の30cm、満月が8月2日であった。

10時過ぎ頃から浜に降りた。昨年まで東の方から入っていたが途中、泥で足を取られるところがけっこう増えてたので、今回水洗い場の西から入った。調査は干潟の縦横20cmの区画のなかをシャベルで10cm程度掘り返して貝類を探すもの。これまでと同様岸近くから始めた。だんだん沖の方に移動する。岸から30m位の2回目で1cmくらいのアサリ稚貝を発見。他の所では貝類は見当たらなかった。カ



9時50分頃 ロープの向こうから降りた



2回目で出てきた1 cm くらいのアサリ稚貝と貝殻

60mくらいのところで潮干狩りをしていた4人家族のを見せていただいた。稚貝が多かったが、2~3cmのシオフキ、3個、2cmくらいのハマグリ



4人家族の集めたもの

ニの穴はけっこうあるが、生物相は貧弱な状態が続いている。ただ、稚貝の殻は昨年より多い感じだった。また、カニの脱皮の頃だそうで、カニの抜け殻も多かったあちこちに。

60mくらいか、5回目で2.5cmのシオフキに遭遇。

これまでと同様、貝類が殆どいないことを確認して、沖の方を広く範囲に熊手で探した。



シオフキ

3個、2cmちょっとのあさり1個であった。

沖の方のゴミ拾いをしていた清掃係の若い女性が通りかかったので、たらいのなかをみせてもらったら多数のマテ貝の貝殻。それまで1~2個は見たのでどこか多い場所があるのかも。沖のほうで熊手を使って探していたら、ときどきアサリの稚貝に遭遇。少ないことは少ないが例年よりは多いようであった。30分ほど熊手で探した結果が、3~4cmのシオフキ2個、2cm くらいハマグリ3個、1.5cm~1cm くらいのアサリ稚貝5~6個であった。2年前の8月では3.6cm~3.



沖の方で30分くらい熊手で探した結果。

5cmのハマグリが7個取れたことを考えると少ない。しかしアサリは稚貝が少し増え気味に思える。

戻る途中、カニの穴の中に、きれいな砂を吐き出している穴を見つけた。

専門の方に聞いてもらったら、写真ではよく分からないが、スナモグリかもしれないそう。

姿はシャコに似ていて、いい釣り餌であるが、食用にはならない。



カニなどの穴